

■ 支部 だ よ り ■

東海・近畿・北陸支部のうごき

平成13年度全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部総会が9月20日(木)、21日(金)の両日、滋賀県大津市において開催された。

第1日目は、日本最大の琵琶湖に面した「ピアザ淡海」を会場に15機関、40名が出席し、議題等について熱心に協議が行われた。会議に先立ち支部長の杉田大阪市立環境科学研究所長が挨拶し、続いて出席者自己紹介の後、開催地の滋賀県立衛生環境センターの辻所長が議長に選出され、以下のとおり議事が進められた。

1. 事業報告

- ① 平成12年度事業報告および収支決算について事務局(支部長市：大阪市)から報告があり、いずれも議案どおり承認された。
- ② 平成13年3月1日施行の本部規約改正に伴う東海・近畿・北陸支部会則の一部改正案について事務局から説明があり、全国公害研協議会東海・近畿・北陸支部を全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部に、第8条役員の任期を本部規約第6条の2および3と同文に改正するとともに大阪府公害監視センターの吉田所長から提案のあった、公害研究機関を試験研究機関に改正することが承認された。なお、改正年月日は平成13年9月20日とすることとなった。
- ③ 平成13年度事業計画および収支予算案について事務局から、支部共同調査研究(酸性雨)事業計画について担当機関の大阪府から説明があり、いずれも承認された。

2. 討議事項

あらかじめ当支部の各機関から5つの事項について、多数の議題・情報交換事項が提出された。

- (1) 各機関の持つ管理・運営上の問題…他部局(行政・研究機関)との連携について(滋賀県…他4題)
- (2) 環境省その他の機関への要望、提案に関するもの…地方公害研究所等の備品等の整備強化について(岐阜県)…他3題

- (3) 全国環境研協議会や支部の活動、運営に関するもの…「環境分析法検討部会」の設置…(富山県)…他1題
- (4) 各機関相互の情報交換に関するもの…廃棄物の循環利用に関する研究の状況について(富山県)…他7題
- (5) その他…各機関におけるごみ処理について(神戸市)

以上の20議題があったが、時間の関係もあり大方の議題は持ち帰り検討することとなった。中でも、京都府から提出の「研究所における組織体制について」、大阪府から提出の「アウトソーシングに伴うデータの精度管理について」等の議題は、参加各機関の現状について危機感を持って熱心に討議がなされた。

3. その他

総会に引き続き支部長表彰式が行われ、多年にわたり公害環境保全の調査研究に精励され、業務の充実・強化等に功績のあった次の5氏に表彰状及び記念品が授与された。

富山県環境科学センター	水上 昭弘氏
石川県保健環境センター	北村 守次氏
三重県科学技術振興センター保健環境研究部	加藤 進氏
大阪府公害監視センター	西川 嘉範氏
和歌山県衛生公害研究センター	吉岡 守氏

第2日目は、滋賀県の水質調査船「みずすまし」「みずすまし2世」に分乗し琵琶湖の水質概況説明を受け、南湖湖心局および北湖湖心局の水質自動定局付近の水質調査の後、滋賀県立琵琶湖博物館を視察した。

最後に、辻所長を始め滋賀県立衛生環境センターの皆様の周到な準備と心のこもったご配慮と支部各会員のご協力のおかげで、今年度の支部総会行事を有意義のうちに終えることができました。ここに厚くお礼申しあげます。

(大阪市立環境科学研究所 記)

中国・四国支部のうごき

平成13年度当支部では5月17日(木)、18日(金)の両日、山口市湯田温泉「翠山荘」および「防長苑」において中国四国支部会議、所長会、庶務会、大気部会、水質部会および廃棄物部会が開催された。今回新しい試みとして、6つの会議を同時に1カ所で行い、また第55回地方衛生研究所全国協議会中国四国支部会議およびそれに伴う各部会も併せて開催された。

中国四国環境研、衛生研から11機関79名が出席し、それぞれの専門部会に分かれ議題等について協議が行われた。全環研に関する会議の概要は次のとおりである。

第1日目は出席者全員が同一会場に集まり、以下の会議次第で進行した。

1. 開会および支部長表彰

開催県山口県挨拶、支部長徳島県挨拶に引き続き、長年調査研究等の業務に精励し、業務の充実強化に功績のあった次の3氏が支部長表彰を受賞された。

徳島県保健環境センター	中島 信博氏
香川県環境研究センター	日野 康良氏
広島市衛生研究所	関川 恵子氏

2. 全体会議

(1) 支部長報告

平成12年度全国公害研協議会の活動状況および中国四国支部の活動状況について山口県より報告があった。

(2) 各専門部会の事業報告について

大気・水質・廃棄物各専門部会および精度管理検討会より、平成12年度の事業報告があった。

3. 合同特別講演

「秋吉台の自然」と題し、山口県秋吉台科学博物館・庫本正名誉館長の特別講演があった。

第2日目はそれぞれの専門部会に分かれて会議が行われた。

4. 部 会

(1) 所 長 会

協議議題3題と情報交換議題1題および追加議

題3題について協議した。

(2) 庶 務 会

協議議題等を作成する際、電子メールをこれから積極的に利用し取り組む方向で合意した。

(3) 大 気 部 会

24名の出席者を得て情報交換議題I 12題、情報交換議題II 6題について協議を行った。続いて下記の研究発表2題を行った。

1) ベンゼン濃度の常時監視項目からの推定方法(香川県環境研究センター)

2) 光化学オキシダントの濃度変動への地理的影響について(山口県環境保健研究センター)

(4) 水 質 部 会

17名の出席者を得て情報交換議題18題について協議を行った。続いて下記の研究発表5題を行った。

1) 無洗米の水環境負荷削減への効果(広島県保健環境センター)

2) 4-ニトロトルエン・ベンゾフェノン・ステレン2量体およびステレン3量体の分析法の検討(広島市衛生研究所)

3) 栄養塩から見た吉野川第十堰の水質と海域への影響(徳島県保健環境センター)

4) オニバスの消長とため池の水質変化(香川県環境研究センター)

5) ICP-MSによる土壌中微量金属の分析(山口県環境保健研究センター)

(5) 廃棄物部会

14名の出席者を得て事例報告4題および情報交換議題15題について協議を行った。

(記：徳島県保健環境センター)